

## 高校生との意見交換会 報告書

地 域 名	第一学院高等学校 養父本校		
年 月 日	令和6年2月2日(金)	会 場 名	第一学院高等学校 養父本校
開始時間	15時00分	終了時間	16時00分
参 加 数	生徒8人	議員5人	合計13人
班 長	瀬原 敬樹	司 会 者	瀬原 敬樹
報 告 者	瀬原 敬樹	書 記	瀬原 敬樹
班 員 名	瀬原 敬樹、谷垣 満、植村 和好、足立 隆啓、中島 恵子		
	学 生	議 員	
意 見 交 換	<p><b>テーマ1「将来の夢や目標、理想の働き方、暮らし方について」</b></p> <p>○祖母が但馬でお店をしているが、将来は村ごとなくなるのではないかと心配している。賑わいがほしい。</p> <p>○今の時代、パソコンを使った仕事ができないといけない。その勉強をしてフリーランスで働きたい。休日が週2日では足りない。週5日は働きすぎ。働き方改革で改善してほしい。ある程度好きなことができ健康で暮らせたらい。</p> <p>○話すことが好き、得意なので人と関わる仕事がしたい。都会過ぎず、田舎過ぎずが一番暮らしやすい。</p> <p>○田舎では車がないと生活できない。運転できない高齢者がバスを使うのに便数が少ないので増やしてほしい。</p> <p>○心理学を勉強し、悩みを抱える子ども達の助けになれる仕事をしたい。</p>	<p>○話すことが得意なら政治家を目指してみてもいいかな。</p> <p>○まだ国道9号線沿いは比較的多いが、全体として便数が少なくなっているのが現実。ライドシェアなどもあるが、公共交通問題は市の課題でもある。</p>	

	学 生	議 員
意見交換	<p>○バスや電車の本数が少ないので、友達と遊ぶ時も早く出ないといけないし、遅くまで遊べない。交通手段が増えればありがたい。</p> <p>○自分が喘息で医療の世話になったので人の役に立ちたい。理学療法士になりたい。 アルバイトをしているが、帰りのバスを2時間待たないといけないので不便だ。</p> <p>○専門学校を卒業後、養父市に帰ってくるか悩んでいる。理学療法士としての働き先が少ない。 養父市は少子・高齢化で子どもが少ない。 冬は早く日が暮れるが、街灯が少ない。</p>	<p>○高齢者等には150円で乗れるバスの優待乗車の支援がある。以前も看護学生からそういった支援がほしいという意見があった。学生も交通弱者であり、そういったところに目を向けて働きかけていく。</p> <p>○街灯が少なく暗いので、八鹿では玄関の明かりを点けて街を明るくする運動をしたことがある。防犯のため議会も提言していく。</p>
	<p><b>テーマ2「若者が住みたい、住みやすいまちにするには」</b></p> <p>○コンビニとかスーパーとかお店があったらいい。服を買うにしても和田山のイオンまで行かないとない。</p> <p>○コンビニもそうだが、勉強するためにカフェもほしい。</p> <p>○娯楽施設を増やしたらいい。いろんな人に出会ったりできる。</p> <p>○近くの公園がなくなって、気軽に小さい子どもが遊ぶところがない。家の中にも元気がなくなる。</p> <p>○兄が美容師になるために大阪に出たが、養父市に帰ってきても働く場所が少ない。若者が働きやすい場所があったら移住者も増えると思う。</p>	<p>○確かに公園も少なくなっている。危ないという理由で回転する遊具なども撤去されている。</p>

	学 生	議 員
意見交換	<p>○思ったより遊ぶ場所があるが、飲食店が少ない。 自然を生かしてアスレチックがあったらいい。</p> <p>○若者が住みたいというより、ある程度歳をとってから住みたいと思えるまちづくりをしたらいい。</p> <p>○山を走り回ったり、川に入ったりするのが好き。アスレチックとかバンジージャンプとか、自然のアトラクションがあったらいい。</p>	<p>○飲食店はかなり減っている。飲食店の数は経済指標になる。 自然を観光資源にするのは勝ち目がある。</p> <p>○独りになれる場所があるのが田舎のいいところ。都会にはない。 能登半島の地震で復興をどうするかが課題になっている。東北の女川町では、若者が積極的にまちづくりをするため、高齢者がサポートに回っている。コンパクトで住みやすいまちになっている。関宮でも若い人が中心になって『小さな拠点』整備が行われている。参考になるのではないか。</p>
まとめ	<p>○高校を卒業して手に職をつけるため料理の道に進んだ。地元に戻って電気屋の営業、大型トラックやトレーラーの運転手をしてきた。それから区長になり、そして議員になった。まず資格を取ることが大事。30年以上釣りをしているが、そこに上下関係はない。心の中に逃げ場も必要。それがあっても釣りのいいところ。</p> <p>○これから人口がもっともって減って、不便になる。これからの働き方、これからの暮らし方、新しい時代を、新しい発想で創ってほしい。自分の長所を活かして地域に目を向けたらすべきこと、やりたいことが出てくるのではないか。</p> <p>○これから地域に関わることは増えてくる。大人たちのすることをしっかり見極めて、しなやかで強い心を持った若者になってほしい。</p>	

高校生との意見交換会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和6年2月26日

報告者 班長 瀬原 敬樹